

洋上作業員の安全訓練施設を設立準備中

青い空、青い海のリゾート。
そんなところで、実海域訓練ができる
GWO認証安全訓練施設を設立準備中。
(右図はイメージ)

■訓練メニュー (BST)

- ① 応急処置
- ② シーサバイバル
- ③ 防火と消火
- ④ 高所作業
- ⑤ マニュアルハンドリング



安全訓練施設 in 伊王島 (中心市街地からジェットフェリーで19分、車で30分)



引用：i+Land nagasaki



引用：馬込教会

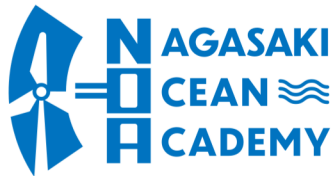


引用：i+Land nagasaki

Asia's First Academy for Professionals in Ocean Energy Development Industry.



アジア初の海洋エネルギー開発の
専門人材育成アカデミー



長崎海洋アカデミー / Nagasaki Ocean Academy
実施団体：NPO法人長崎海洋産業クラスター形成推進協議会

Supported by 日本財団 OCEAN INNOVATION



About Us



長崎海洋アカデミーとは

日本の洋上風力発電は将来大きく成長する可能性を秘めていると言われています。しかしながら、実証的技術やノウハウを持った海洋開発技術者の人材不足が致命的な課題となっています。そこで人材育成に向けた取り組みをオールジャパンで推進すべく、海洋開発市場の参入・拡大を企図する本邦企業、大学、公的機関の参加及び政府の協力を得て、日本財団オーシャンイノベーションプロジェクトの一環として、長崎海洋アカデミーを設立することとなりました。

産官学民のオールジャパン体制
海外の人材育成機関とも連携

海洋開発技術者育成に関する企業ニーズの把握と、社会人教育および大学教育とのマッチングを図るとともに、大学及び個別の企業のみでは実施することが難しい教育、実習等を、企業や公的機関の協力を得て実施することにより、海洋開発技術者の育成体制の構築を進めます。

海洋エネルギー関連分野における
連携協力に関する協定締結式



All Japan

座学だけでなく、ワークショップや
グループワーク、そしてオンサイト
プログラムを提供

北欧の教育機関を中心に広がりを見せている「アクティブ・ラーニング」。講義で学んだことを、ワークショップで実践し、グループワークで他の参加者とディスカッションを行うことで、本当の意味の「理解」を深めていただきます。また、実海域をもつ長崎ならではの現地研修、オンサイトプログラムでは洋上風車や設置船の見学、五島で洋上風車と共生する漁業者との交流、洋上浮体観測装置を使ったデータ取得、ROV操作体験などを地元関係者や大学と計画しています。



Our Special Features

Courses offered by NOA

長崎海洋アカデミーの
コース紹介



洋上風力発電 総論コース

洋上風力発電の概要について
俯瞰的に幅広く学ぶコースです。

洋上風力発電の業務を行う上で欠かすことのできない、ビジネス知識であるマーケットのトレンド、プレイヤー、事業環境、法律、政策面と、技術の基礎知識である計測、機械、電気、施工等について短期間で集中的に習得することができます。ミニチュア風車のインストゥールや、エクセルを活用した設計パラメーター変更、発電量計算等のワークショップも豊富です。また、VRシステムを活用した、洋上風力発電機各コンポーネントの詳細を学び、作業の危険性とリスクについて学ぶワークショップも行います。

洋上風力発電 事業開発コース

プロジェクトを管理、業務遂行するための
一連の知識を学ぶコースです。

ファームのライフサイクル、入札、コンソーシアムの組成、ファームの設計、輸送、収益性管理、HSE等を習得することができます。9つの講義に加え、風力発電ファーム開発および運転管理のグループワークも行います。チームに分かれ、サイト選定、レイアウト決定、物流・組立、設置、運転、保険などを模擬的に遂行することで、収益性やリスクについて具体的に習得します。また、VRシステムを活用した、洋上風力発電機各コンポーネントの詳細を学び、作業の危険性とリスクについて学ぶワークショップも行います。

ウインドファーム認証とマリンワランティサーバイ
及び保険・ファイナンスコース

洋上で事業に特有の認証・保険・ファイナンスに
ついて短期間で習得できるコースです。

日本の海事産業において最大の認証機関である日本海事協会より、洋上風力建設に必要となる、認証制度の目的や仕組み、注意点について解説していただきます。また東京海上日動保険より保険の仕組みや具体的な事故事例、3重JF銀行より、ファイナンス組成やリスクアロケーションの考え方等について、講演していただきます。

海底地盤調査・解析と洋上施工コース

地盤調査から得られる情報を基に
基礎構造を選定し、施工する方法を学びます。

欧州での経験が豊富なオランダIHC IQIP社のノウハウと、日本海洋振興の経験豊富な海洋土木の専門家により、最新の知識をご提供します。地盤調査から得られるデータ（建設地の水深、海底地盤、気象海象等）を基に、複数の基礎構造の選定方法や、専用機材を用いた効率的な施工の知識を学びます。

EPCプロジェクト・マネジメントコース

EPCプロジェクトの遂行に必要な知識と
対応力を模擬プロジェクトを通じて学びます。

エンジニアリング協会の開発した、洋上風力EPCプロジェクトマネジメント研修を経験豊富なプロマネ経験者が指導します。プロジェクト全体の進め方や、不測の事態への対応など、実際のプロジェクトを想定した実務に役立つ知識を得ることができます。

浮体式洋上風力発電コース

日本で将来的に大きな市場になるとみられる
浮体式に特化したコースです。

洋上風力発電の開発事業者、ゼネコン/マリコンやEPCコントラクター、浮体構造メーカー、船舶運航会社、港湾物流、マテリアルハンドリング機器メーカー、ケーブルメーカー等、あらゆる業界の関係者が、浮体と係留の技術、施工、運転保守、撤去のライフサイクルに渡って集中的に学ぶことができます。世界の浮体式の実証事業に携わるオランダVryho社と、オランダDOBアカデミー、長崎海洋アカデミーが共同で開発したコースです。当アカデミーの日本人講師、船舶海洋を専門とする大学教授等が日本語で講義を行います。



(表示価格はすべて税込みです)

長崎海洋アカデミー受講料	一般企業	会員企業 (※1)	長崎県内に拠点を 有する企業(※2)	会員企業且つ長崎県内に 拠点を有する企業
洋上風力総論コース (オンライン開催の場合:20%割引)	150,000円 (120,000円)	100,000円 (80,000円)	100,000円 (80,000円)	50,000円 (40,000円)
洋上風力事業開発コース (オンライン開催の場合:20%割引)	150,000円 (120,000円)	100,000円 (80,000円)	100,000円 (80,000円)	50,000円 (40,000円)
ウインドファーム認証とマリンワランティサーバイ 及び保険・ファイナンスコース	150,000円	100,000円	100,000円	50,000円
海底地盤調査・解析と洋上施工コース	150,000円	100,000円	100,000円	50,000円
EPCプロジェクトマネジメントコース	150,000円	100,000円	100,000円	50,000円
浮体式洋上風力発電コース (オンライン開催の場合:20%割引)	150,000円 (120,000円)	100,000円 (80,000円)	100,000円 (80,000円)	50,000円 (40,000円)
オンサイト参加料(別料金)	五島市開催:20,000円 長崎市開催:8,000円	(ジェットファイル-海上タクシー-貸切バス-昼食等)	(ジェットファイル-海上タクシー-貸切バス-昼食等)	(ジェットファイル-海上タクシー-貸切バス-昼食等)

※基本コース2日間+オンサイト1日間の日程となっています。受講料の総額は各コースの受講受講料+オンサイト参加料となります。
※オンサイトに申し込めば参加費を任意で減額することができます。オンサイトに不参加の場合はオンサイト参加料は必要ありません。
※上記金額は受講に関する費用であり、アカデミーまでの交通費や長崎での宿泊費は含まれておりません。
※1:会員企業とは、長崎海洋産業クラスター形成推進協議会の正会員のことを指します。
※2:長崎県内に拠点を有する企業とは、長崎県内に本社または本店を置く企業のことを指します。

Tuition Fee



長崎海洋アカデミー [Nagasaki Ocean Academy]
〒852-8521
長崎県長崎市文教町1-14
長崎大学文芸キャンパス 研究開発推進機構2階
TEL:095-800-2875 FAX:095-800-3017

WEBでの申込み・お問い合わせ

長崎海洋アカデミー

お電話での申込み・お問い合わせ

095-800-2875



長崎海洋アカデミー(NOA) 実海域フィールドセンター

海洋機器の実海域試験のための実証フィールドと 諸手続きを支援するサービスを提供します

伊王島



長崎港

NAGASAKI

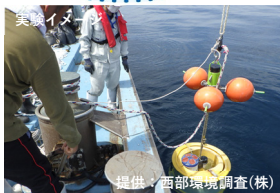
フィールドセンター

長崎県 西彼南部漁業協同組合の協力の下
伊王島・高島・香焼沖を実証フィールドとして指定

香焼



高島



● 海域の特徴

- ① 地元漁協との基本合意が得られている
- ② 実証試験に適した海域環境(水深20~50m、透明度が高い)
- ③ 海洋情報が得やすい環境(NOWPHAS観測拠点、气象台)

- ④ 作業船などの支援体制が充実
- ⑤ 産官学による技術支援
- ⑥ アクセスが良好

● レンタル可能な機器設備

- ① 水中観測用小型ROV
- ② 潮流計測用ADCP
- ③ 風況観測用ドップラーライダー
- ④ データ収録/通信システム
- ⑤ 独立電源設備
- ⑥ 動揺計測センサー

● 手続きの流れ

